

3 数学

学校番号

T3010

令和3年度 数学科

教科	数学科	科目	(通) 数学 I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	新 高校の数学 I (数研出版)						
副教材等	授業プリント						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
- ・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
- ・ノートを用意してください。
- ・中学校までの内容や、基本的な問題にも取り組みます。

2 学習の到達目標

数と式、図形と計量についての基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	数と式、2次関数、の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式、2次関数における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、2次関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、2次関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	確認テスト 学習状況の観察等 ノート・プリント等の確認	学習状況の観察等 定期テスト 学習状況の観察等 ノート・プリント等の確認	定期テスト ノート・プリント等の確認 学習状況の観察等	定期テスト 学習状況の観察等 ノート・プリント等の確認
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	内 容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前 期	数と式	式の計算	整式の加法と減法			○	○	a: 具体的な事象の考察に式の展開や因数分解などを活用しようとしている。 b: 一つの文字に着目したり、一つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方をすることや、目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。 c: 式を用いて事象を適切に表現することや見通しをもって式を扱うこと、そして、乗法公式や因数分解の公式などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。 d: 乗法公式及び因数分解の公式の意味や複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解している。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
			整式の乗法	○		○	○		
			因数分解	○	○	○	○		
後 期	2次関数	二次関数の値の変化	二次関数とグラフ	○			○	a: 二次関数とそのグラフについて関心を持ち、それらを二次関数の考察に活用しようとしている。 b: 二次関数の式とグラフを関係付けて考察することができる。 c: 二次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフと $y = ax^2$ のグラフの位置関係を調べることができる。 d: 二次関数の式やグラフの特徴について理解している。	確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等
		二次方程式と二次不等式	二次関数の最大・最小		○	○	○		
			二次関数の決定	○		○			
			二次方程式	○	○				
			二次不等式		○		○		

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 数学的な見方や考え方
 c : 数学的な技能 d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。